

梅ヶ浜



「今日が楽しく明日が待たれる学校」

梅二月 ひかりは風とともにあり 西島麦何



2月を「光の春」とも言います。光はいつも、気温に先がけて次の季節の到来を告げてくれます。草木の芽吹きは、目に見えないところで進み、寒さの中でも成長していく養分を貯め、日の光の中から少しずつ暖かさを受け取り、新しい芽と花や実を結ぶ日を迎えます。人も草木と同じように、目に見える努力と目に見えない努力との積み重ねの上に成長し、それぞれの夢が実現していきます。

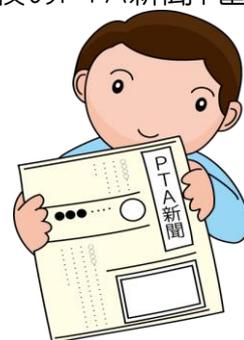
PTA新聞県1位に！ ～第41回宮崎県小・中学校PTA新聞コンクール～

子どもたち(野球部)に続いて、PTAも宮崎県1位になりました！！先日、本校のPTA新聞「雀八重」が、第41回宮崎県小・中学校PTA新聞コンクール最優秀賞に選ばれたとの通知が届きました。県の生涯学習課・県秘書広報課・毎日新聞宮崎支局・県PTA連合会の四者による厳正な合同審査の結果です。各部署で活躍中のプロとも言える審査員の方々から高評価をいただいたこととなります。

12月にPTA新聞が配付された際、躍動感のある写真や読み応えのある豊富な記事など、職員も生徒も、もちろん保護者の方々も食い入るように読んで広報誌ですので、誰もが納得のいく結果です。

取材や写真撮影、記事や見出し作成、レイアウトなど、細部にわたってこだわって作成していただいた広報部の方々の熱意に感謝するとともに、コロナ禍にありながら、PTA活動でも学校を盛り立てていただいている保護者の皆様に、心からお礼申し上げます。

2月16日の表彰式には、PTAを代表して広報部長の戸村美百さんが出席されます。



ABUCHUプロジェクト第1弾 ～スクールワイドPBSの取組～

ABUCHUプロジェクト第一弾(7時45分生徒玄関通過と授業中の姿勢)が終了しました。8割以上達成をクリアした生徒がたくさんいましたが、全体的な成果もありました。

1つ目は、生徒会が主体となって計画的に活動したことです。生徒会活動で大事にしたいことは、「自分たちで考えて、自分たちで決めたことを実行し、学校をより良い環境・楽しい場所にしていく」ことです。ABUCHUプロジェクト第1弾は、「今日が楽しく明日が待たれる学校づくり」に向けて、学校を新たな方法で、生徒会の力で前進させたと思います。

2つ目は、他から促されて行動するのではなく、それぞれが登校時刻と授業中の姿勢について意識して取り組み、学校全体が向上したことです。時間に余裕をもった登校や授業中の良い姿勢は、集中力のアップや授業中の雰囲気の良いさにつながりました。



3つ目は、個々の生徒の取組の成果が、ライフスケッチブックに残っていることです。日頃から、「何のためなのか」「だれのためか」を意識して行動することや、どのようにがんばったかを記録すること、活動を振り返ることは、目標を達成する過程において必要です。今後も、ライフスケッチブックの活用を図りながら、自己を高めていきたいものです。

「稚心を去れ」～ 2年生の成長を感じた立志式 ～

県の緊急事態宣言の発令に伴い、1月22日の2年生の立志式は、放送やビデオ視聴等の工夫をして行いました。一人一人の発表を録画して視聴した「**立志の発表**」は、子どもたちが自分の人生について真剣に考え始めていることがよく伝わる内容でした。

「立志」を語るとき、しばしば引き合いに出される橋本佐内は、15歳の時に「**稚心(ちしん)を去れ 稚心とはおさなごころということにて、俗にいう童(わらび)しことなり**」と記しています。



私たちは一人ずつ顔や声が異なるように、みな違う個性をもって生まれています。長所も短所も人それぞれです。しかし、共通していることもあります。それは反省や工夫、努力もしないのに、魔法をかけたかのように、勉強が急にできるようになったり、競争に勝てたり、夢が叶えられたりすることは決してあり得ないということです。自分とその運命を変えようと思うなら、結局、自分の手で何とかする以外に方法はないのです。佐内は自分を変える第一歩を「稚心」、つまり「子供っぽい心」を捨て去ることだ、と考えました。

「稚心」を捨て去ろうとしている2年生の成長を頼もしく感じた立志式でした。

高校受験は、記念すべき人生の第一歩！～人生の主役は自分自身～

私立高校入試(1/27・28)と県立高校推薦入試(2/4)が終わりました。3年生は、人生初の経験に緊張した様子でしたが、全力で受験に向き合いました。

高校受験は、子どもが自立して大人になっていくための記念すべき人生の第一歩です。受験にあたっては、将来どのような生き方をしたいかを自分で考え、自分で高校や学科を決めて、自分の力で受験しなければなりません。自分の人生の主役は、自分自身という自覚が高まる時ではないでしょうか。3年生は、3月3日・4日に県立高校一般入試となります。

受験後の3年生の反省から、「面接で質問されたこと」「後輩へ伝えたいこと」を紹介します。

1 面接で質問されたこと

- 志望理由を教えてください。
- 生徒会活動やボランティア活動には参加しましたか。
- 中学校で心に残っていることは何ですか。
- 高校では、何をがんばりたいですか。
- 高校卒業後の進路は考えていますか。
- 将来の夢は何ですか。



2 後輩へ伝えたいこと

- 今やるべきことを考え、1日1日を大切に過ごしましょう。
- 試験時間が45分ととても短く、問題も難しいです。高校の過去問を解くときは、時間を計り、45分の時間配分を考えて解くことが大事です。
- 試験と試験の間や昼食時間は、人との交流や会話は避け、勉強をして最後の追い込みをすることが大事です。また、日頃からニュースなどに興味をもつことも大事です。
- 試験も面接もとても緊張します。場の雰囲気になじめないように深呼吸をして落ち着きましょう。学校で面接の練習をするので、しっかり練習を重ねてください。
- 面接は、アイコンタクトをしながら明るく話すことが大事です。面接官がうなづいて聞いてくださるので安心できます。

【3月の主な行事】

- 3月1日(月)～5日(金) 性に関する指導週間
- 3月3日(水)・4日(木) 県立高校一般入試
- 3月8日(月) 2年生遠足
- 3月16日(火) 第74回卒業式(※ 給食なし)
- 3月17日(水) 県立高校合格発表
- 3月26日(金) 修了の日(※ 給食なし)
- 3月27日(土)～4月6日(火) 学年末・春季休業期間
- 3月30日(火) 離任式(予定 11:00～)



